

第 199 回 企業経営動向調査

調 査 要 領

- (1) 調査対象企業社数 466 社 (回答企業社数 431 社、回答率 92.4%)
- (2) 調査時点 令和 6 年 11 月下旬～12 月中旬
- (3) 調査対象期間 実 績：令和 6 年 10-12 月期
見通し：令和 7 年 1-3 月期

(注) 本文中にある「D. I. 値」は「Diffusion Index」の略で、企業の業況判断等を指標化したものである。算式は有効回答企業社数の合計を 100%として「良い」「増加」「上昇」などとする企業の割合 (%) から、「悪い」「減少」「下落」などとする企業の割合 (%) を差し引いた数値である。

概 況

1. 令和 6 年 10-12 月期の「全産業」の業況判断 D.I. (「良い」－「悪い」) は、+21 と前回調査+20 から 1 ポイント上昇した。令和 7 年 1-3 月期の見通しは、+17 となっている。

2. 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I. は、+14 と前回調査+14 から変わらなかった。令和 7 年 1-3 月期の見通しは、+7 となっている。

「非製造業」の業況判断 D.I. は、+28 と前回調査+26 から 2 ポイント上昇した。令和 7 年 1-3 月期の見通しは、+26 となっている。

(表 1、図 1)

3. 各種判断項目では、「売上・受注・生産」D.I. は、+12 と前回調査+7 から「増加した」超幅が 5 ポイント拡大した。令和 7 年 1-3 月期の見通しは、+7 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。

「販売価格」D.I. は、+36 と前回調査+25 から「上昇した」超幅が 11 ポイント拡大し、「仕入価格」D.I. は、+57 と前回調査+51 から「上昇した」超幅が 6 ポイント拡大した。その結果、「採算」D. I. は、▲12 と前回調査▲14 から「悪化した」超幅が 2 ポイント縮小した。

1 業況判断

(1) 群馬地区

・調査対象企業社数 258 社（回答企業社数 241 社、回答率 93.4%）

- ① 令和 6 年 10-12 月期の「全産業」業況判断 D.I.（「良い」－「悪い」）は、+23 と前回調査+23 から変わらなかった。令和 7 年 1-3 月期の見通しは、+15 となっている。
- ② 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、+22 と前回調査+18 から 4 ポイント上昇した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+23 と前回調査+28 から 5 ポイント低下した。製造業では、輸送用機械が一部メーカーの生産が回復した影響で改善が見られる。非製造業では、観光を含むサービスの回復が続き、また他の業種においては数値の低下はあるものの、すべての業種がプラスを維持し業況は底堅く推移している。

具体的に見ると、「製造業」では、食料品+29、金属製品+15、一般機械+14、輸送用機械+29 その他製造が+11 となった。「非製造業」は、建設+24、卸売+30、小売+11、サービス+32 がプラスとなった。令和 7 年 1-3 月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+7、「非製造業」は+24 となっている。

（表 2、図 2）

(2) 埼玉地区

・調査対象企業社数 181 社（回答企業社数 167 社、回答率 92.2%）

- ① 令和 6 年 10-12 月期の「全産業」の業況判断 D.I.（「良い」－「悪い」）は、+20 と前回調査+19 から 1 ポイント上昇した。令和 7 年 1-3 月期の見通しは+21 となっている。
- ② 業種別では、「製造業」の業況判断 D.I.は、+8 と前回調査+15 から 7 ポイント低下した。「非製造業」の業況判断 D.I.は、+31 と前回調査+22 から 9 ポイント上昇した。製造業では、輸送用機械が一部メーカーの生産調整の影響を受けた企業等で回復が遅れている。非製造業では、すべての業種がプラスを維持し業況の持ち直しの動きが続いている。

具体的に見ると、「製造業」では、金属製品+16、一般機械+10、その他製造+14 がプラスとなり、輸送用機械▲22 がマイナスとなった。「非製造業」は、建設+45、卸売+19、小売+26、サービス+27 がプラスとなった。

令和 7 年 1-3 月期の業況判断見通し D.I.は、「製造業」は+11、「非製造業」は+28 となっている。

（表 3、図 3）

2 売上・受注・生産

令和6年10-12月期の「全産業」の売上・受注・生産 D.I.（「増加した」－「減少した」）は、+12 と前回調査+7 から「増加した」超幅が5ポイント拡大した。業種別では「製造業」は+9 と前回調査+2 から「増加した」超幅が7ポイント拡大し、「非製造業」は+14 と前回調査+11 から「増加した」超幅が3ポイント拡大した。

令和7年1-3月期の「全産業」の売上・受注・生産見通し D.I.は、+7 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。（図4）

3 資金繰り

令和6年10-12月期の「全産業」の資金繰り D.I.（「良化した」－「悪化した」）は、▲6 と前回調査▲8 から「悪化した」超幅が2ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は▲7 と前回調査▲8 から「悪化した」超幅が1ポイント縮小し、「非製造業」は▲5 と前回調査▲8 から「悪化した」超幅が3ポイント縮小した。

令和7年1-3月期の「全産業」の資金繰り見通し D.I.は、▲5 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図5）

4 販売価格

令和6年10-12月期の「全産業」の販売価格 D.I.（「上昇した」－「低下した」）は、+36 と前回調査+25 から「上昇した」超幅が11ポイント拡大した。業種別では、「製造業」は+37 と前回調査+26 から「上昇した」超幅が11ポイント拡大し、「非製造業」は+36 と前回調査+25 から「上昇した」超幅が11ポイント拡大した。

令和7年1-3月期の「全産業」の販売価格見通し D.I.は、+27 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図6）

5 仕入価格

令和6年10-12月期の「全産業」の仕入価格 D.I.（「上昇した」－「下落した」）は、+57 と前回調査+51 から「上昇した」超幅が6ポイント拡大した。業種別では、「製造業」は+59 と前回調査+53 から「上昇した」超幅が6ポイント拡大し、「非製造業」は+55 と前回調査+49 から「上昇した」超幅が6ポイント拡大した。

令和7年1-3月期の「全産業」の仕入価格見通し D.I.は+45 と「上昇する」超で推移する見通しとなっている。（図7）

6 採算

令和6年10-12月期の「全産業」の採算 D.I.（「良化した」－「悪化した」）は、▲12 と前回調査▲14 から「悪化した」超幅が2ポイント縮小した。業種別では、「製造業」は▲13 と前回調査▲15 から「悪化した」超幅が2ポイント縮小し、「非製造業」は▲9 と前回調査▲13 から「悪化した」超幅が4ポイント縮小した。

令和7年1-3月期の「全産業」の採算見通し D.I.は、▲12 と「悪化する」超で推移する見通しとなっている。（図8）

7 在 庫・在庫水準

令和6年10-12月期の「全産業」の在庫 D.I.（「増加した」－「減少した」）は、+3 と前回調査+4 から「増加した」超幅が1ポイント縮小した。令和7年1-3月期の「全産業」の在庫見通し D.I.は、+1 と「増加する」超で推移する見通しとなっている。（図9）

令和6年10-12月期の「全産業」の在庫水準 D.I.（「過剰」－「不足」）は、+2 と前回調査+3 から1ポイント低下した。令和7年1-3月期の「全産業」の在庫水準見通し D.I.は、±0 となっている。（図12）

8 雇用人員

令和6年10-12月期の「全産業」の雇用人員 D.I.（「過剰」－「不足」）は、▲33 と前回調査▲29 から4ポイント低下した。業種別では、「製造業」は▲25 と前回調査▲23 から2ポイント低下し、「非製造業」は▲42 と前回調査▲35 から7ポイント低下した。

令和7年1-3月期の「全産業」の雇用人員見通し D.I.は、▲32 となっている。（図10）

9 生産・営業用設備

令和6年10-12月期の「全産業」の生産・営業用設備 D.I.（「過剰」－「不足」）は、▲8 と前回調査▲6 から2ポイント低下した。業種別では、「製造業」は▲9 と前回調査▲7 から2ポイント低下し、「非製造業」は▲9 と前回調査▲5 から4ポイント低下した。

令和7年1-3月期の「全産業」の生産・営業用設備見通し D.I.は、▲9 となっている。（図11）

10 当面の経営上の課題

「製造業」における当面の経営上の課題について、対象企業の65.6%が回答した「原材料高」がトップとなった。2位は「売上・受注不振」で37.2%となり、3位は「人件費高騰」で31.6%となった。

「非製造業」では、対象企業の50.9%が回答した「原材料高」がトップとなった。2位は「人件費高騰」で34.7%となり、3位は「求人難」で34.3%となった。

製造業・非製造業ともに依然として「原材料高」の割合が高水準で推移しているなかで、「人件費高騰」の増加傾向が続いている。また、非製造業では低水準ではあるが、「金利負担増」の割合も増加してきており、コスト増加を懸念する企業が増加している状況がうかがえる。（図13,14）

表1 業況判断

全 体	10-12月 実績	6年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7年 1-3月 見通し
食料品	11	17	13	44	33	24
繊維	0	0	20	50	50	75
木材・木製品	33	22	▲ 25	13	12	0
窯業・土石	0	▲ 13	33	▲ 11	▲ 28	▲ 28
金属製品	5	7	▲ 2	4	9	2
一般機械	20	19	8	20	8	▲ 4
電気機械	30	▲ 10	9	30	50	30
輸送用機械	26	▲ 23	7	7	9	11
その他製造	3	3	12	7	9	▲ 2
製 造 業 計	14	2	7	14	14	7
建設	25	16	14	31	36	25
不動産	20	20	▲ 16	0	0	0
卸売	29	22	25	28	25	22
小売	16	28	29	22	16	27
サービス	25	17	10	25	33	34
非製造業 計	23	20	17	26	28	26
全 産 業 計	19	11	12	20	21	17

図1 業況判断

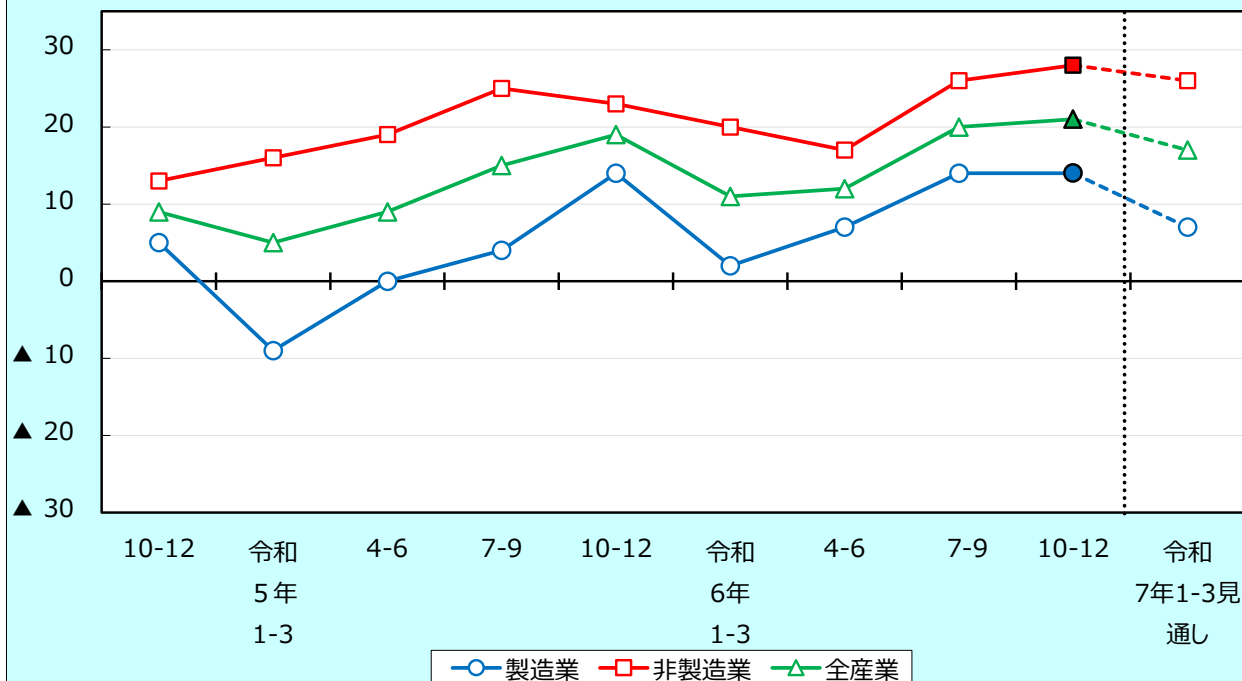


表2 業況判断

群馬県	10-12月 実績	6年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7年 1-3月 見通し
食料品	4	4	4	40	29	21
金属製品	8	16	4	11	15	8
一般機械	28	20	21	14	14	▲ 7
輸送用機械	47	▲ 26	7	25	29	8
その他製造	9	6	5	0	11	▲ 5
製造業計	21	4	7	18	22	7
建設	10	3	6	27	24	18
卸売	21	22	37	41	30	25
小売	17	38	35	31	11	24
サービス	27	20	9	20	32	30
非製造業計	19	21	19	28	23	24
全産業計	20	12	13	23	23	15

図2 群馬県・業況判断

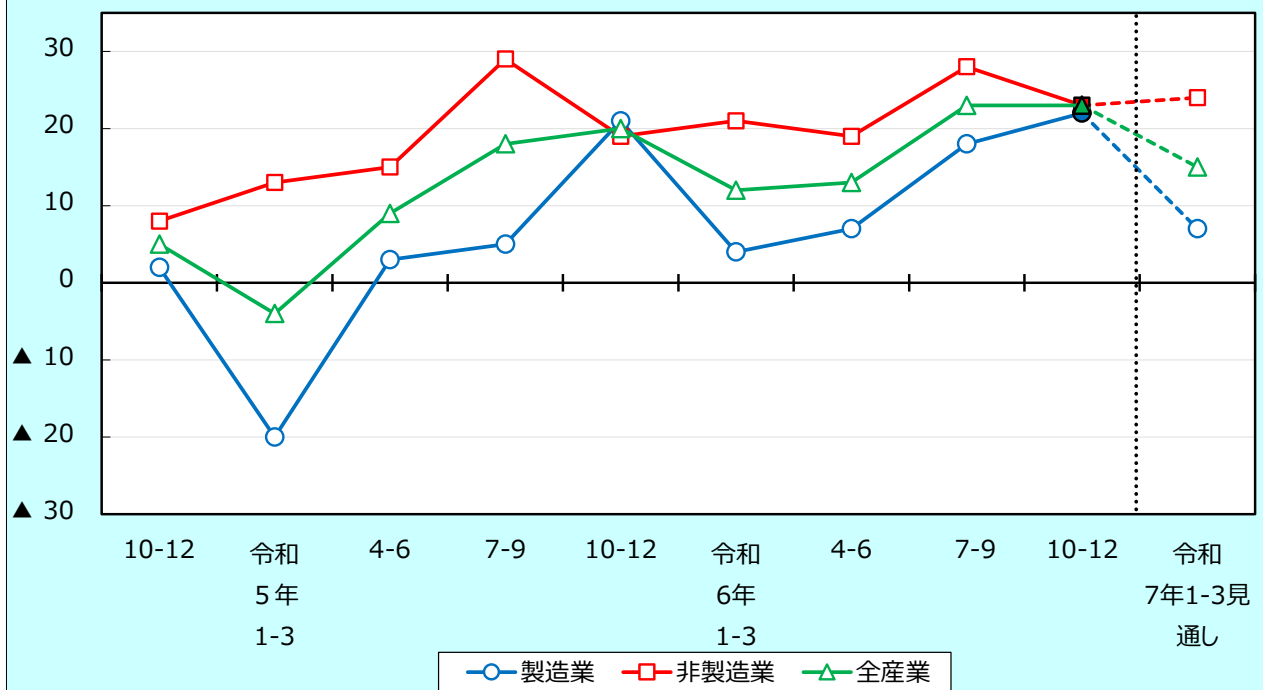


表3 業況判断

埼玉県	10-12月 実績	6年 1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	7年 1-3月 見通し
金属製品	▲ 16	0	▲ 7	0	16	7
一般機械	11	10	▲ 10	33	10	0
輸送用機械	▲ 6	▲ 27	0	▲ 18	▲ 22	11
その他製造	5	9	27	22	14	10
製造業計	3	1	11	15	8	11
建設	36	30	27	35	45	29
卸売	31	6	6	11	19	19
小売	14	7	20	6	26	33
サービス	21	12	9	24	27	36
非製造業計	26	15	14	22	31	28
全産業計	15	9	13	19	20	21

図3 埼玉県・業況判断

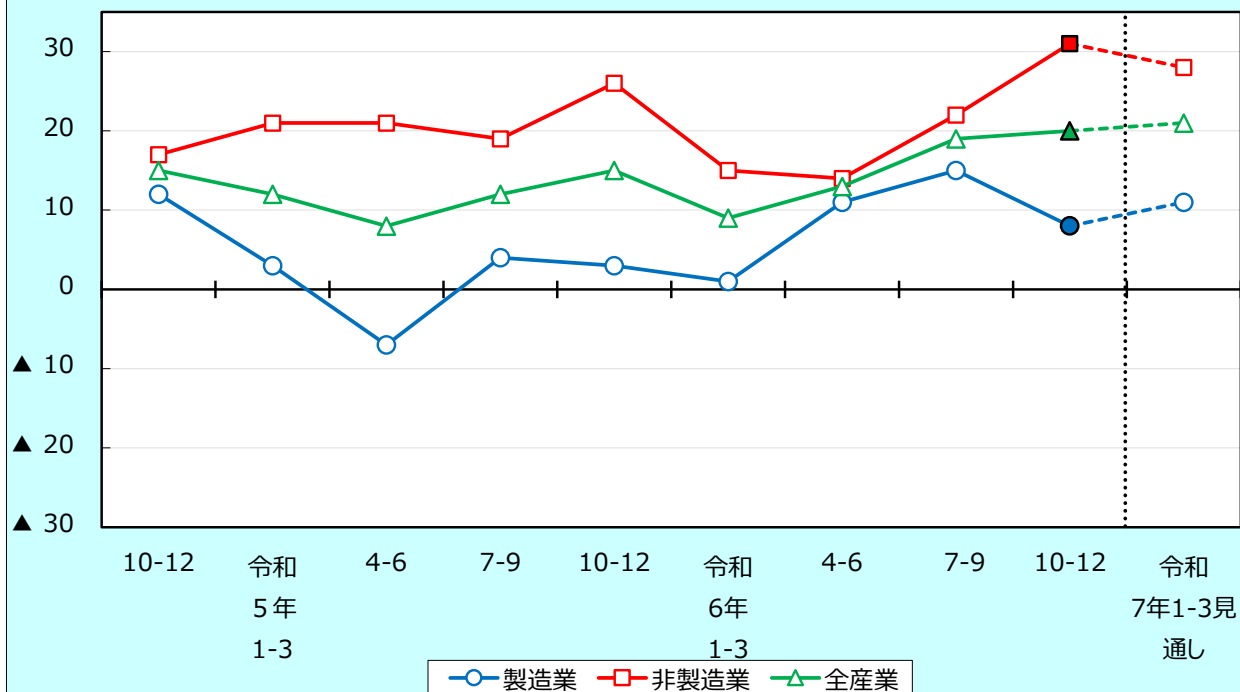


図 4

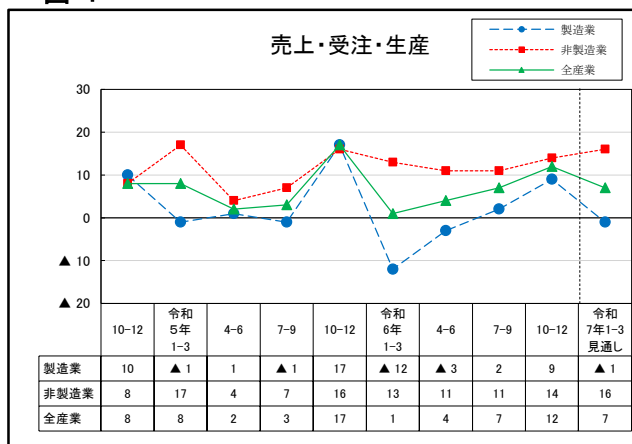


図 5

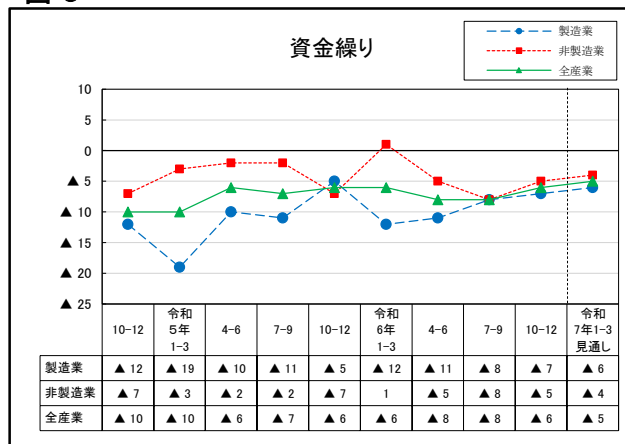


図 6

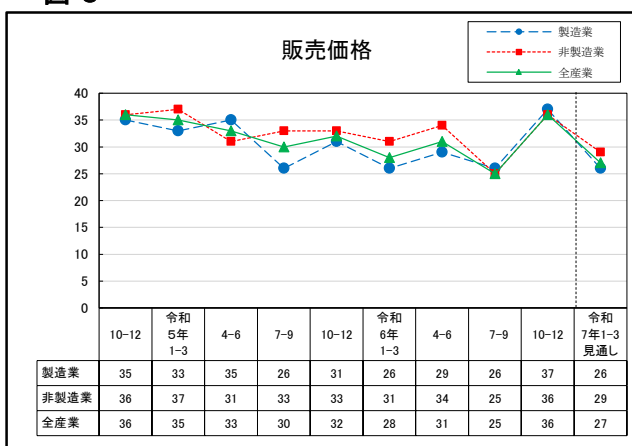


図 7

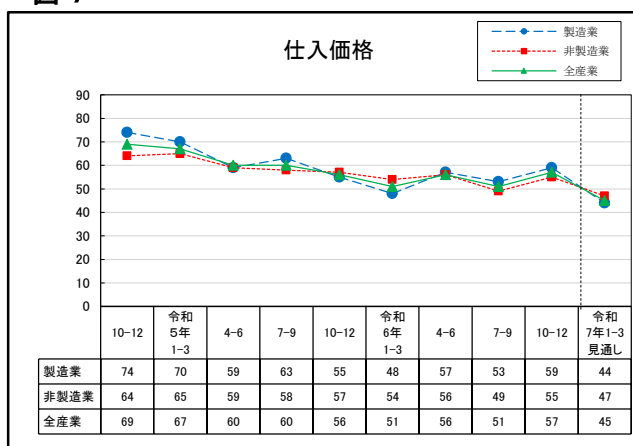


図 8

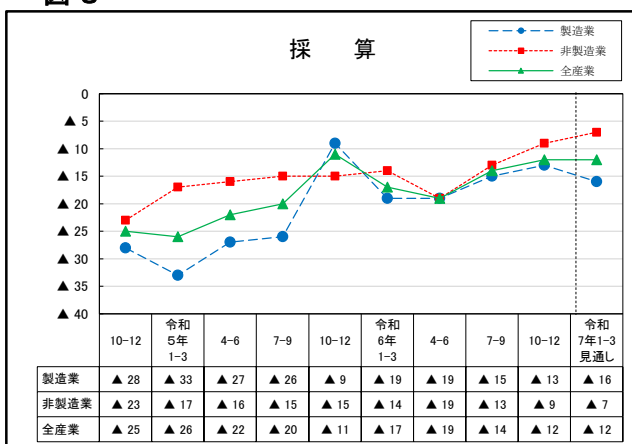


図 9

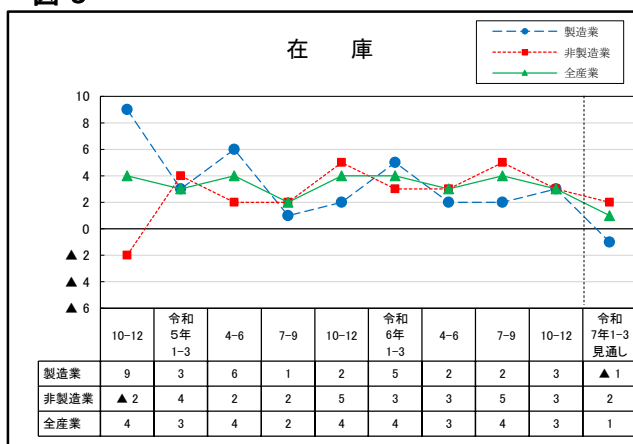


図 10

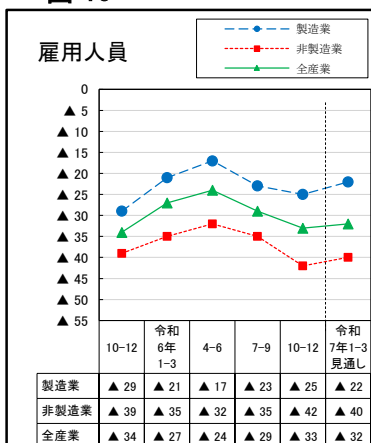


図 11

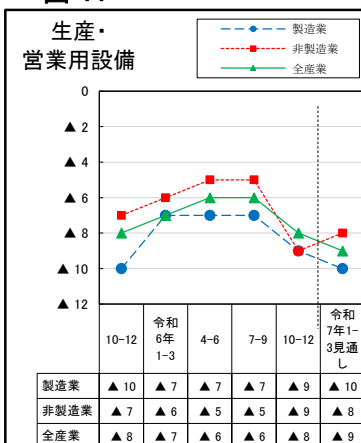
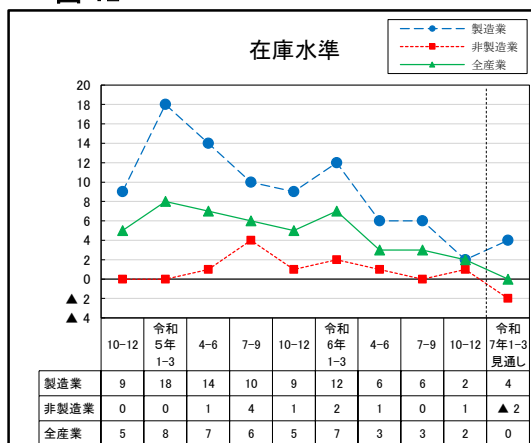
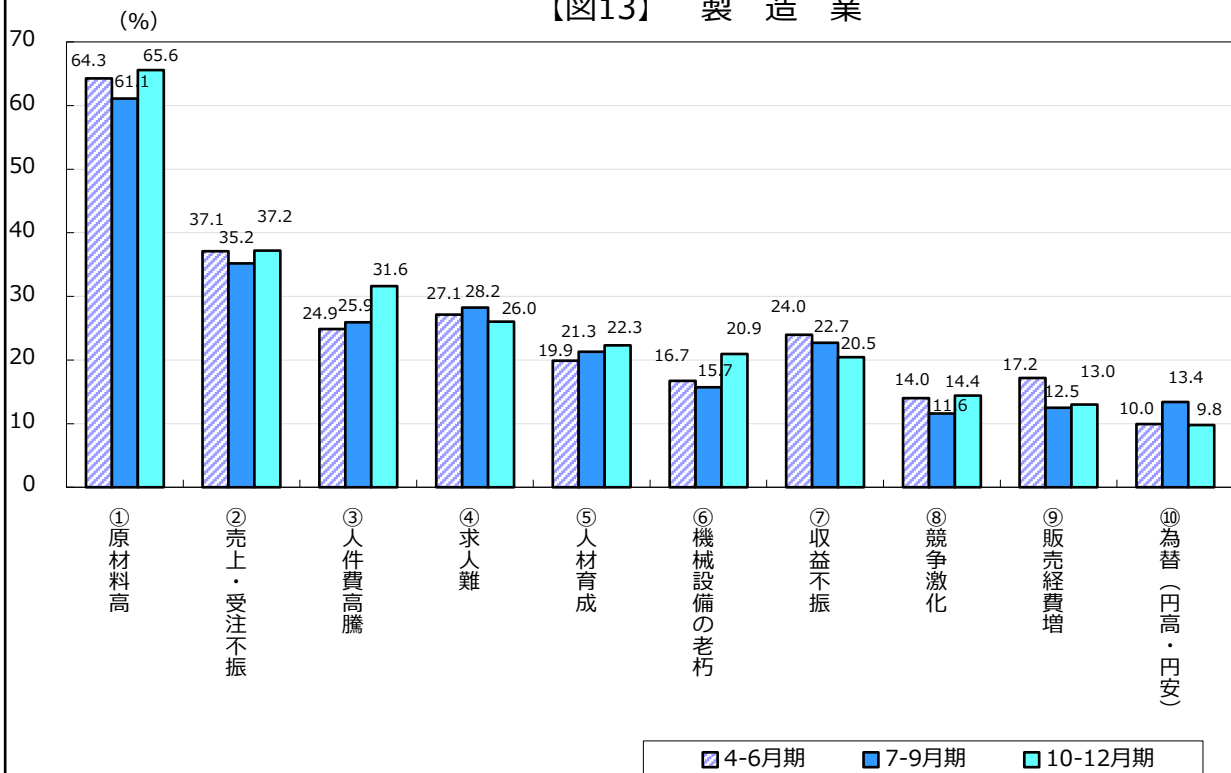


図 12

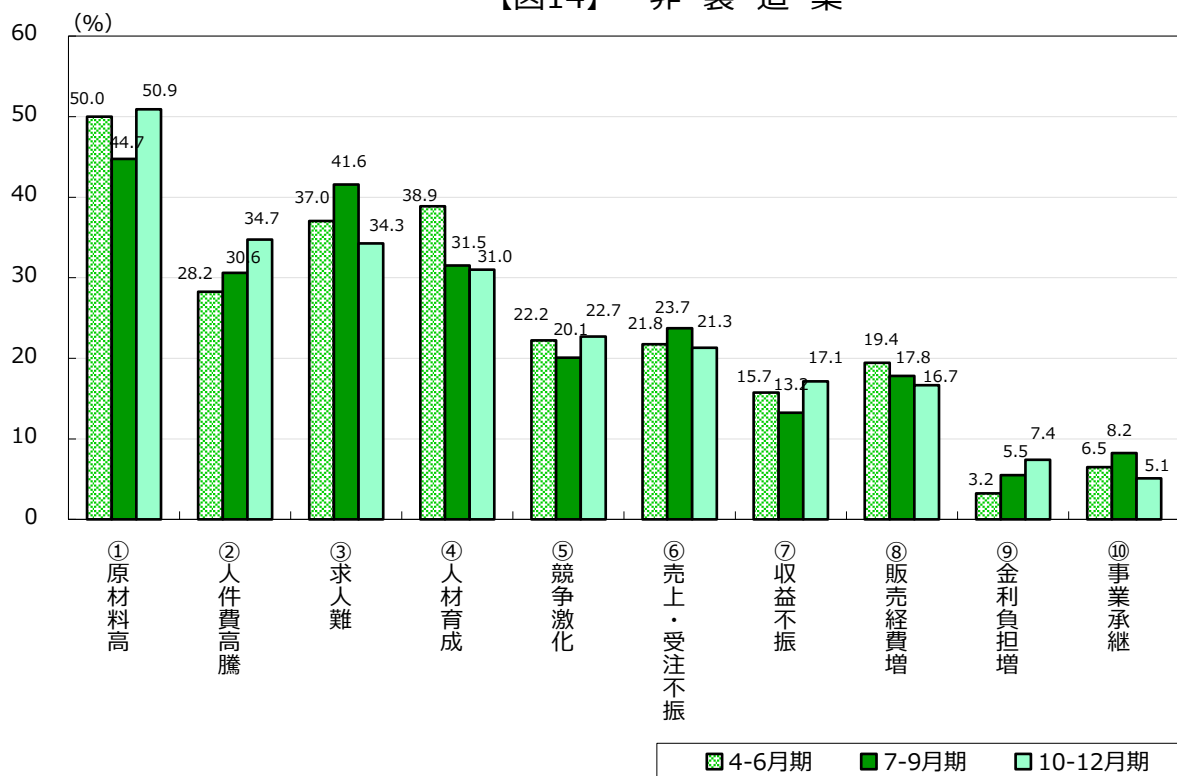


第199回企業経営動向調査 当面の経営上の課題

【図13】 製 造 業

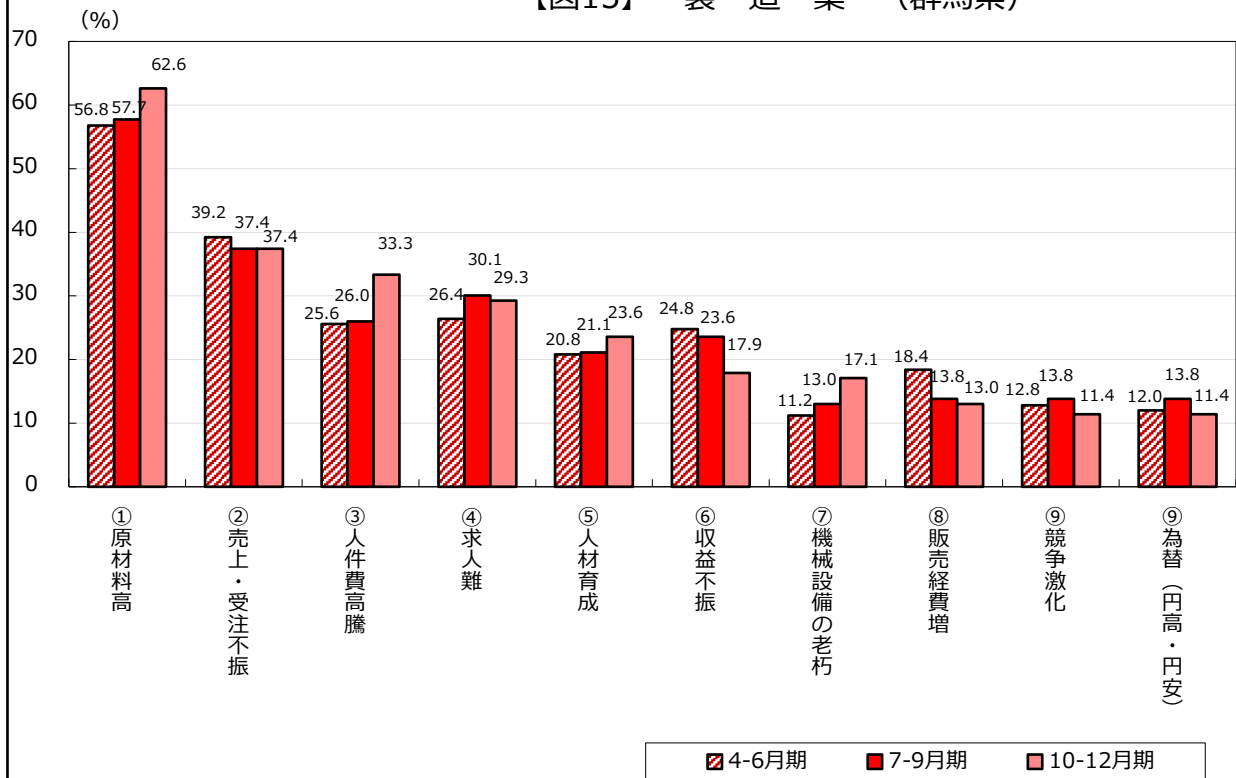


【図14】 非 製 造 業

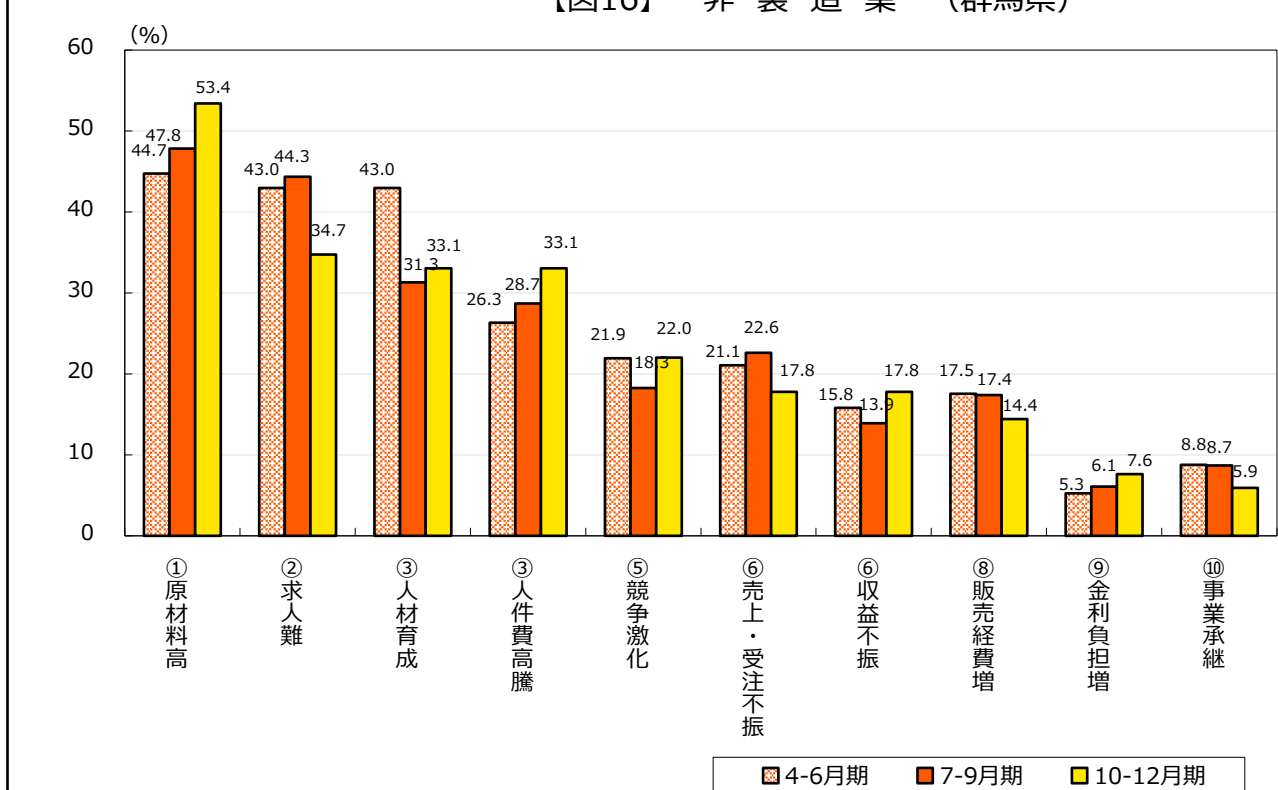


第199回企業経営動向調査 当面の経営上の課題（群馬県）

【図15】 製 造 業 （群馬県）

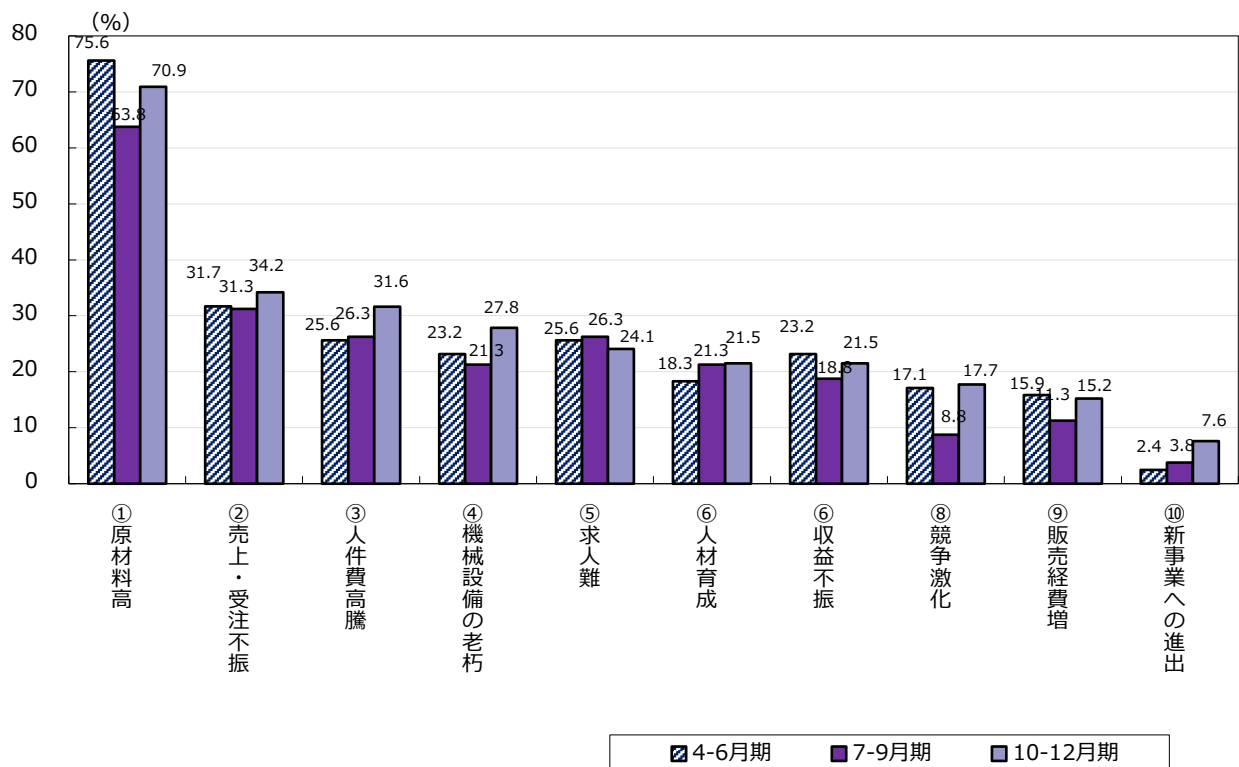


【図16】 非 製 造 業 （群馬県）



第199回企業経営動向調査 当面の経営上の課題（埼玉県）

【図17】 製 造 業 （埼玉県）



【図18】 非 製 造 業 （埼玉県）

